

## 東京を取り巻く社会経済情勢

- 1 東京の人口は2015年をピークに減少局面へ
- 2 世界に類を見ない速さで超高齢社会が到来
- 3 都市間競争が激化する中、日本の国際競争力は低迷
- 4 地球温暖化など、地球環境問題が深刻化
- 5 身近な緑や景観に対する意識の高まり
- 6 いつか必ず来る大地震への備えが急務
- 7 大規模団地、民間マンションの老朽化

出典：東京の都市づくりビジョン(H21. 7)

## 都政運営の新たな戦略(H23.5)

- 大震災から日本が立ち直るため首都東京が為すべきこと  
被災地・被災者支援に全力を注ぐとともに、山積する都政の諸課題の解決に努める。加えて、今回の大震災を教訓に、これまでの防災対策を抜本的に見直し、高度な機能を備えた災害に強いまちに東京を変えていく。
- 目指すべき東京の都市像
  - ・災害の不安を払拭して、都民の安心・安全と都市の活力を取り戻し、アジアのリーダーとしての地位を持続
  - ・これまでの価値観や生活様式を見直し、エネルギー多量消費型社会を転換し、世界の範となる低炭素型都市へ進化
- 政策強化のポイント
  - ・高度な防災機能を備えたまちづくり
  - ・都民生活の安心・安全の向上と首都経済の発展
  - ・低炭素型エネルギー政策の推進

## 「2020年の東京」計画策定の考え方

### 【計画の位置付け】

「2020年の東京」計画は、「10年後の東京」計画(平成18年策定)の理念、基本的な考え方を着実に継承し、これを充実・強化するとともに、東日本大震災後の新たな社会経済状況に対して、中長期的な視点からの的確に対応し、日本の再生と東京のさらなる進化を目指して策定した新たな都市戦略である。

### 【政策強化のポイント】

「2020年の東京」計画では、大震災後の状況を踏まえ、特に、「防災対策」、「エネルギー政策」、「国際競争力の向上」の3点について、政策の充実・強化を図っていく。

## 「2020年の東京」8つの目標

- 目標1 高度な防災都市を実現し、東京の安全性を世界に示す。  
地震・津波、水害などの自然災害に対して、東京の総力を結集した万全の備えを講じることにより、防災対応力を飛躍的に高め、世界に誇れる安全な都市を実現する。
- 目標2 低炭素で高効率な自立・分散型エネルギー社会を創出する。  
エネルギー効率が最も高く、エネルギーセキュリティに優れた世界一環境負荷の少ない都市を実現し、経済成長と低炭素化を両立する。
- 目標3 水と緑の回廊で包まれた、美しいまち東京を復活させる。  
東京に水と緑と縦横にめぐらせ、まちに潤いを取り戻すとともに、風格のある景観を生み出し、人々が憩い、賑わう都市空間を実現する。
- 目標4 陸と海と空を結び、東京の国際競争力を引き上げる。  
道路・港湾、空港など世界トップクラスのインフラを整備するとともに、ビジネスや観光の拠点となる都心駅周辺のまちづくりを推進し、東京の国際競争力を高める。
- 目標5 産業力と都市の魅力を高め、東京を新たな成長軌道に乗せる。
- 目標6 少子高齢化社会における都市モデルを構築し、世界に範を示す。
- 目標7 誰もがチャレンジできる社会を創り、世界に羽ばたく人材を輩出する。
- 目標8 誰もがスポーツに親しみ、子供たちに夢を与える社会を創る。